

平成 29 年度「留学生が先生！」教育プログラム事業計画

(自平成 29 年 4 月 1 日～至平成 30 年 3 月 31 日)

1 平成 29 年度数値目標

- 1 実施校数 年間 320 校(NET 数)
- 2 講義時間数 年間 2,250 時間

年度別数値目標の推移

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
実施校数(NET)	310	315	320
講義時間数(時間)	2,050	2,150	2,250

29 年度留学生講師料(予算案) ¥24,750,000 28 年度予算 ¥23,650,000

今年度もオリンピック・パラリンピック教育の影響で申込みが増大することを考慮し、実施希望が多い 11 月～翌 3 月の申込みに対し、1 校につき講師 6 名までの出講とする制限を設けます。現在 1 日の講師派遣は 10 名程度を上限としていますので、派遣講師要望数の多い高校の申込みがあった場合、その日、ほかの学校への出講はできない事態が生じております。この規制により他の学校にも出講できるようになり、現状 MAX 状態の実施校数の増加を図りたいと思います。

10 月以前の実施申込みについては出講数が少ないので、従来通り 10 名までの派遣を受付けています。なお、平成 29 年 1 月 10 日より新年度の申込みを開始しましたが、2 月末で 63 校の申込みを受け付けており、5 月末までに 250 校の申込みが予想されます。(28 年度実績は 5 月末 234 校受付)

2 ホームページからの講義申込受付を推進

平成 28 年度よりホームページを改良し、申込み受付を開始いたしましたが、申込みは順調に推移しております。本年度も引き続き、基本的には協会ホームページより申込受付を行い、書類業務をネットで処理するシステムを継続いたします。

学校側の都合でネットが使用できないケースもありますが、FAX での受付は可能な限りネット処理で手続き頂くように要請してまいります。

3 サイト運営は現状維持

昨年度より、ホームページの改良、フェイスブックの利用開始などネット関連の改善や運営が始まり、協会の窓口として、また協会の顔として機能するようになってきました。

今年度は、現状のサイトの自主運営に重点をおき、学校からの申込みに対応するように考えております。

4 新人講師の教育研修と学校・教育委員会へのアプローチ

① 講義指導

新人講師教育及び学校での講義指導は、宮地専務理事、富山常務理事及び2名のシニアアドバイザーが担当し、事務局員も応援体制で臨みます。

また、引き続き文部科学省・東京都教育委員会の対応、及び新規校の開拓・継続校の維持にも力を注ぎます。

② 講習会・研修会・現場研修の充実

29年度は、新人講師として過去最多の48名の講師を認定しました。1月に二日間の講習会、2～3月の現場実習、4月のロールプレイ研修会と進めます。

5 講師募集六大学への寄付継続

講師募集に際して、各大学では無償でポスターの掲示、学内サイトへの募集情報の掲載等募集協力をしていただいております。

協会は、より良い留学生の応募を維持できるよう、今年度も、以下の六大学の留学生課を窓口にして留学生支援の目的で寄付を継続いたします。

寄付金は、各大学とも年間5万円を予定しています。

東京大学 筑波大学 一橋大学
早稲田大学 東京工業大学 東京外国語大学

6 留学生講師(第30期生)の募集対策

本年度の新人講師募集は、7月より制作物の作成に着手し、昨年同様早めに9月20日より募集を開始して、面接(11月25日・26日)、講習会(来年1月20日・21日)、現場研修会(来年2月～3月)の日時で予定しております。

募集方法は、従来の大学留学生課への協力依頼はもとより、さらに新規の大学開拓及び現役講師の紹介による応募の増加を図りたいと考えております。

特に現役の留学生講師からの紹介は、優秀な学生の応募が期待できるので、重点的に対策を行いたいと思います。

講師数の増加は、学校からの希望地域の要望に対応するためにも重要な対策です。学校の要望に応えられる留学生講師の質とできるだけ多くの国・地域の講師を登録することが協会の存在意義に繋がることと思います。

7 協力団体・関連団体との連携

- ① 留学生講師募集に協力して頂く募集大学の窓口拡大
- ② 内閣府・文部科学省〈後援依頼〉の担当部署
- ③ 東京都教育委員会教育庁指導部〈後援・講習会講演依頼〉及び区市教育委員会(プログラムの認知)

従来通り、協会運営に欠かせない各団体との連携は、引き続き行います。

なお、今期「英語活動」教育プログラムの実施の予定はありません。

以上